

議会特別委員会組織会会議録

令和二年九月十日

開会 午後一時二十一分

○事務局長（藤田 伸君）

お疲れのところ申し訳ありませんが、よろしくお願ひいたします。先ほど、議会改革特別委員会が設置されましたので、委員長・副委員長の互選を行います。委員会条例第十条第二項の規定により、年長の委員が委員長互選の職務を行うことになっております。

年長委員の野呂日出男委員に委員長互選の職務をお願いいたします。

野呂日出男委員、委員長席にお着き願ひます。

（年長の野呂日出男委員、委員長席へ着く）

○臨時委員長（野呂日出男君）

委員会条例第十条第二項の規定により、委員長が互選されるまでの間、委員長の職務を行いますので、よろしくお願ひいたします。

ただ今の出席委員数は、十四名です。

定足数に達しておりますので、ただ今から議会改革特別委員会を開会いたします。

これより、委員長の互選を行います。委員長の互選の方法について、お諮りいたします。

委員長の互選方法は、投票、指名推薦のいずれの方法で行いますか。前田信一委員。

○前田信一委員

指名推選でお願いします。

（「投票」の声あり）

- 1 -

○臨時委員長（野呂日出男君）

ただ今、委員長の互選について、投票との声がありますので、投票により行います。

議場の閉鎖をお願いします。

（議場閉鎖）

準備のため、暫時休憩します。

休 憩 午後一時二十四分

---

再 開 午後一時二十五分

○臨時委員長（野呂日出男君）

会議を再開いたします。

ただ今の出席委員数は十四名です。

次に立会人を指名いたします。会議規則第三十条第二項の規定により、立会人に

十三番 浅 利 直 志 君

十四番 小 野 稔 君

一番 石 澤 貴 幸 君を指名いたします。

投票用紙を配ります。

（投票用紙配布）

念のため申し上げますが、投票は単記無記名でお願いいたします。また、白票及び他事記載の取扱いは、無効といたします。

投票用紙の配布漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

- 2 -

投票箱を点検します。

(投票箱点検)

異常なしと認めます。

ただ今から投票を行います。

点呼に応じて、順次投票をお願いします。

それでは、点呼を命じます。事務局長。

○事務局長(藤田 伸君)

それでは、点呼を行いますので、投票をお願いいたします。

(議席番号一番から順次点呼し順次投票)

○臨時委員長(野呂日出男君)

投票漏れはありませんか。

(「なし」の声あり)

投票漏れなしと認めます。

投票を終わります。

開票を行います。

立会人に開票の立ち会いをお願いします。

(開票)

○臨時委員長(野呂日出男君)

投票の結果をご報告いたします。

投票総数十四票、有効投票十三票、無効投票一票です。

有効投票のうち

- 3 -

奈良岡 文 英 委員 十票

五十嵐 忍 委員 二票

浅 利 直 志 委員 一票

以上のとおりであります。

よって、奈良岡文英委員が、委員長に当選されました。

議場の出入り口の閉鎖を解きます。

(議場閉鎖解除)

○臨時委員長(野呂日出男君)

奈良岡文英委員長、登壇のうえご挨拶をお願いいたします。

(奈良岡文英君 登壇)

○委員長(奈良岡文英君)

みなさんこの度は、議会改革特別委員長のご推挙をいただき大変ありがとうございます。その責務の重さを考えれば、身が引き締まる思いでございます。この議会改革特別委員会は多くの町民の声を吸い上げて、町民により開かれた議会を目指して、委員長の職務を全うしたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

○臨時委員長(野呂日出男君)

これで、私の職務は終了いたしました。委員の皆さん、ご協力ありがとうございました。

奈良岡委員長、委員長席にお着き願います。

(奈良岡文英委員長、委員長席へ着く)

○委員長(奈良岡文英君)

それでは、これより副委員長の互選を行います。副委員長の互選方法について、お諮りいた

- 4 -

します。

副委員長の互選の方法は、投票、指名推薦のいずれの方法で行いますか。

(「指名推選」の声あり)

ただ今、指名推選の発言がありましたが、指名推選で行うことにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定いたしました。

それでは、どなたか推選をお願いいたします。横山哲英委員。

○横山哲英委員

ただ今二票入りました、五十嵐忍さんを副委員長に推挙いたします。

○委員長(奈良岡文英君)

ただ今、五十嵐忍委員を副委員長に推選する発言がありましたが、この指名についてご異議ありませんか。

(「異議あり」の声あり)

○委員長(奈良岡文英君)

吉村委員。

○吉村委員

阿部祐己君を推選します。

○委員長(奈良岡文英君)

五十嵐忍委員。

○五十嵐忍委員

先ほど推選いただきましたけれど、全く想定しておりませんでしたので、私は辞退させてい

- 5 -

ただきます。

○委員長(奈良岡文英君)

ただ今、五十嵐委員より辞退の申し出がありましたので、阿部委員を副委員長に指名推選することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって、阿部委員が副委員長に当選されました。

阿部副委員長、登壇のうえご挨拶をお願いいたします。

(阿部祐己君 登壇)

○副委員長(阿部祐己君)

ただ今、議会改革特別委員会副委員長として、皆さんより推していただき、誠にありがとうございます。議会改革は議員になった時から、いろいろこうしていきたいという思いはあったので、本当に嬉しく思います。委員長の補佐をしっかりとすべく、より良い議会をつくっていくために、努力していきますので、よろしくをお願いいたします。

○委員長(奈良岡文英君)

以上をもって、本日の日程は終了いたしました。

本日は、これにて散会いたします。

どうもご苦労様でした。

散会 午後一時三十八分

委員長 奈良岡 文 英

- 6 -